

## 年度評価シート

課名 スポーツ振興課

施設の名称 静岡市清水ナショナルトレーニングセンター 清水日本平運動公園球技場・庭球場 静岡市清水蛇塚スポーツグラウンド 静岡市清水庵原球場	指定管理者名 静岡スポーツスクエア共同事業体 代表者 (公財) 静岡市まちづくり公社																																																					
1 履行状況																																																						
業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。																																																						
(1) 維持管理業務																																																						
各施設とも、各種設備の保守点検等について第三者委託により実施し、各業務とも事業計画に従って適切に行われている。																																																						
また、第三者委託において、他施設との一括発注が可能なものについては契約を一本化し、コストの削減に努めている。																																																						
修繕については、グループで安全委員会を設置し、各施設及び器具等の点検を行い利用者の安全確保と、経年劣化による不具合発生等の未然防止対応に努め、計画的かつ効果的に実施しており、修繕費を有効に活用している。																																																						
各施設の主な修繕内容は以下のとおりである。																																																						
<b>【静岡市清水ナショナルトレーニングセンター】</b>																																																						
ジムエントランス系統制御不能室内機修繕、トレーニングマシン一式修繕																																																						
<b>【清水日本平運動公園球技場・庭球場】</b>																																																						
4 ゲートシャッター修繕、テニスコートベースライン補修修繕																																																						
<b>【静岡市蛇塚スポーツグラウンド】</b>																																																						
ポンプFMバルブ取替修繕、玄関照明修繕、散水ポンプ配管漏水修繕																																																						
<b>【静岡市清水庵原球場】</b>																																																						
正面入口プロムナード点字シート張替修繕、2階ゲートエキスパンション修繕																																																						
(2) 施設利用者数																																																						
令和4年度の施設利用者数等は以下のとおり																																																						
単位：人																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th colspan="3">令和4年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>目標値 (事業計画)</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>実績値</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>清水ナショナルトレーニングセンター</td> <td>223,800</td> <td>149,662</td> <td>66.8%</td> <td>154,333</td> <td>-3.0%</td> </tr> <tr> <td>清水日本平運動公園 球技場・庭球場</td> <td>346,200</td> <td>287,075</td> <td>82.9%</td> <td>238,852</td> <td>20.1%</td> </tr> <tr> <td>清水蛇塚スポーツグラウンド</td> <td>30,000</td> <td>23,866</td> <td>79.5%</td> <td>21,426</td> <td>11.3%</td> </tr> <tr> <td>清水庵原球場</td> <td>97,700</td> <td>122,516</td> <td>125.4%</td> <td>88,801</td> <td>37.9%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>697,700</td> <td>583,119</td> <td>83.5%</td> <td>503,412</td> <td>15.8%</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	令和4年度			令和3年度		目標値 (事業計画)	実績値	達成率	実績値	増減率	清水ナショナルトレーニングセンター	223,800	149,662	66.8%	154,333	-3.0%	清水日本平運動公園 球技場・庭球場	346,200	287,075	82.9%	238,852	20.1%	清水蛇塚スポーツグラウンド	30,000	23,866	79.5%	21,426	11.3%	清水庵原球場	97,700	122,516	125.4%	88,801	37.9%	計	697,700	583,119	83.5%	503,412	15.8%	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和4年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>実績値</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>583,119</td> <td>83.5%</td> <td>503,412</td> <td>15.8%</td> </tr> </tbody> </table>	令和4年度		令和3年度		実績値	達成率	実績値	増減率	583,119	83.5%	503,412	15.8%
施設名		令和4年度			令和3年度																																																	
	目標値 (事業計画)	実績値	達成率	実績値	増減率																																																	
清水ナショナルトレーニングセンター	223,800	149,662	66.8%	154,333	-3.0%																																																	
清水日本平運動公園 球技場・庭球場	346,200	287,075	82.9%	238,852	20.1%																																																	
清水蛇塚スポーツグラウンド	30,000	23,866	79.5%	21,426	11.3%																																																	
清水庵原球場	97,700	122,516	125.4%	88,801	37.9%																																																	
計	697,700	583,119	83.5%	503,412	15.8%																																																	
令和4年度		令和3年度																																																				
実績値	達成率	実績値	増減率																																																			
583,119	83.5%	503,412	15.8%																																																			
(参考) 令和元年度<コロナ前> 実績値(合計)：673,351人 増減率：-13.4%																																																						

新型コロナウイルス感染症の影響に対し、各施設において、ウィズコロナにおける事業継続（持続）として、ハード面での徹底した感染防止対策を実施しつつ、ソフト面においても、事業の開催場所の見直し（室内→屋外）や時間及び人数の再検討を行った。コロナ禍でも安心して参加できるプログラム設定に見直すなど安全・安心な施設運営で快適な環境づくりが構築された。利用者ニーズ・変化する価値観に柔軟に応えながらも、各施設の利用促進とスポーツ推進計画に沿うことを目的とした事業展開が創意工夫をもって適切に行われた。

このような努力や利用者ニーズに応えた管理運営業務の誠実な履行により、グループ全体としては令和3年度と比較し、利用者数・利用料金等において増加傾向にあることから、高く評価できる。各施設において同様の動きが見られることから、業務は適正に実施できている。

### （3）事業実施状況

令和4年度の事業実施状況は以下のとおり

#### ■指定事業及び自主事業参加者数

施設名	目標値 (仕様書)	実績値	達成率
清水ナショナルトレーニングセンター	20,400人以上	20,548人	100.7%
清水日本平運動公園 球技場・庭球場	700人以上	9,622人	1374.5%
清水蛇塚スポーツグラウンド	1,200人以上	2,328人	194.0%
清水庵原球場	600人以上	771人	128.5%
計	22,900人以上	33,269人	145.2%

#### ■指定事業実施回数

施設名	目標値 (仕様書)	実績値	達成率
清水ナショナルトレーニングセンター	5事業以上	27事業	540%
	全1,500回以上	1,570回	104.6%
清水日本平運動公園 庭球場	(キッズテニス教室)	1事業	100%
	1事業以上全3回以上	全3回	100%
	(硬式テニス教室)	3事業	100%
	3事業以上全64回以上	全95回	148.4%
清水庵原球場	2事業以上	1事業	50%
	全15回以上	全1回	6.6%

新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値に届かなかった事業もみられたが、いずれの事業においても回復傾向がみられ、その要因としては各施設における工夫が挙げられる。

清水ナショナルトレーニングセンター・清水蛇塚スポーツグラウンドでは、「ストレス発散」をテーマに、芝生グラウンドなど、敷地内のロケーションを活かし、屋外でのプログラムを積極的に実施。コロナ禍の自粛疲れと運動不足にターゲットを絞った工夫を施した事業運営を行うことで利用者の好評を得ている。

また、スポーツ推進計画における市民意識調査（2021年）にて、16歳以上でスポーツを「全くしない」人が一番多かった層は30代と40代の女性であるという課題解決に向け、「美尻トレーニング」や「姿勢改善ピラティス」などニーズに合わせた効果的なプログラムを実施するなど、効果的な運営が図られている。働き盛り世代・子育て世代への他視点からのアプローチとして、スポーツの苦手意識や何から始めていいかわからない親子の戸惑いを解消するため、楽しく体を動かす運動遊びや子どもの体力向上に特化したスポーツ教室など、多方面のニーズに対応した多種多様な事業が実施されており、「静岡型 Sports in Life」の推進に大きく寄与している。

清水日本平運動公園球技場及び庭球場では、子どもから大人まで幅広い年齢層に対応した参加型教室やイベントの開催に努めている。指定事業においては、初めての方でも参加しやすい教室運営や周知に心がけることで、コロナの影響がある中でも、令和3年度実績を上回る結果となっている。自主事業では清水ナショナルトレーニングセンター・蛇塚スポーツグラウンド同様、芝生グラウンドを活かした新規事業が数多く見られた。「アイスタピッチで選手体験!」、「スナッグゴルフ体験」、「アイスタでノルディックウォーク」、「Stadium Camp2022」、「アイスタ Family Live」といった様々な新規自主事業は、スポーツ×「宿泊」・「コンサート」・「新体験」など、スタジアム（芝生グラウンド）活用の可能性を広げており、事業の多様化と市民のスポーツに対する芽生えの創出に寄与していると高く評価できる。

また、参加者の満足度向上を常に意識しており、結果的に多くの事業で満足度100%を得られており、高く評価できる。その他、「エスパルス」のネームバリューを活かした周知方法や運営方法から大きな集客効果も得られており、継続性、事業・効果拡大を期待する。

清水庵原球場においては、野球という競技を軸に清水野球連盟や静岡県高野連、静岡県学生野球リーグ、元プロ野球選手等と連携しながら、様々な事業を実施することで「スポーツ推進計画」の施策の柱の「子どもの体力を向上させる機会の創出」等に寄与している。ホームタウンチームを活かしたまちづくりの一環として、「静岡甲女子ソフトボールチーム」と協働し選手と触れ合う機会を創出。子どもたちに向けたクリニックを開催することで子どもたちのスポーツへの関心の向上に大きく寄与している。

その他、各施設の主な事業の状況は、以下のとおりである。

●教室・イベント等利用者満足度（一部抜粋）

施設名	事業名	募集 人数	参加実績	目 標 満 足 度	満足度
清水ナショナルトレーニングセンター	自主 J-STEP 着衣水泳教室	60 人	67 人	95%	100%
清水日本平運動公園 球技場	自主 ストレッチ&機能改善 体リセット教室	40 人	40 人	95%	100%
清水日本平運動公園 庭球場	自主 早朝テニス教室	1,680 人	939 人	95%	100%
清水蛇塚スポーツグラウンド	自主 ズンバ教室	39 人	39 人	95%	100%
清水庵原球場	自主 ソフトボールクリニック	30 人	50 人	95%	100%

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

各施設において、利用者からの意見・要望に対して、丁寧に回答できており、良好な対応をしている。

今後も利用者からの多種多様な意見・要望に対して、親切・丁寧に対応を期待する。

【具体的な意見・要望と対応状況】

静岡県清水ナショナルトレーニングセンター

要望

ミストサウナにおいて、足元が冷える。

対応

足元冷え対策として、床にマットを敷くことで至急対応。当対応に併せ、状況改善がなされなければ、代替案を講じることについて丁寧に説明し、了承を得た。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 施設利用者満足度調査

施設名	調査回数	調査人数	目標満足度	利用者満足度
清水ナショナルトレーニングセンター	1 回	611 人	95%	97.3%
清水日本平運動公園球技場・庭球場	1 回	361 人	95%	96.1%
清水蛇塚スポーツグラウンド	1 回	110 人	95%	100%
清水庵原球場	1 回	26 人	95%	100%

各施設において、施設利用者に対し満足度調査を実施した。いずれの施設においても目標値 90%を超える結果となり、多くの利用者にとって適切な施設運営がされていることがわかる。スタッフ対応についての項目についても、いずれの施設も大変良好な結果となっており、スタッフ一人ひとりが全ての利用者に対し明るく、快活な接遇対応に心

かけ、親しみやすい施設づくりに貢献していることが伺える。

## (2) 市民アンケート

施設の認知度等の調査を行った。当グループの平均認知度は36.2%であった。今回の調査では、市内に居住地を有する者の回答が半数以上を占めており、今後は静岡市内に限らず、広い範囲での広報活動にも期待したい。なお、集計数が利用者人数に対して少ない数となっているため、幅広い意見聴取をするよう収集方法の検討を図りたい。

## 4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務についての収支状況は、概ね予算のとおり執行されており良好である。

## 5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

施設の管理運営全般については、新型コロナウイルス感染症の影響が未だ残る1年であり、事業計画に対して教室の中止等が目立った。コロナ禍においてスポーツを取り巻く社会情勢や環境が大きく変化する中で、それに伴う市民ニーズや価値観の変化に的確に対応した上で、スポーツを通じた様々な取組を静岡市の「まちづくり」に繋げていくため、静岡市が目指すスポーツ施策の方向性やスポーツ推進計画の進捗状況及び課題等を把握し、「世界に輝く静岡市」の実現に向け、積極的かつ着実な事業展開が見られた。

各施設において、利用者数を着実に増加させていくために、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を確実に講じながら、国・県・市の対応方針の変化に伴い、都度見直しを図ることで、感染症対策の徹底が見られ、安心・安全な運営がなされた。利用者の安全を第一とした信頼高い施設運営を心がけていく丁寧な姿勢が顕著に見られたことから、市民に対するイメージの適切な保持が良好に実施されていることが伺える。実績を分析することで、コロナ禍以前の数値を目指そうとする前向きな姿勢は高く評価できる。利用者数の減少や伸び悩みが、単にコロナ感染症を原因とするものなのか、又は、別の原因によるものなのかを分析した上で、対応策として市外・県外類似施設の事例を模範に試験的に導入したりするなど、効果的・効率的な対策・検討が講じられていることも高く評価できる。

また、市民利用と同様に力を入れているプロチーム等のキャンプへの対応については、円滑な施設利用ができるよう各セクションと調整を図り、各チーム・選手より好評を得ている。事前打ち合わせではチーム担当者と施設職員がキャンプの目的・スケジュール等を入念に共有することで、チームの趣旨に沿ったキャンプを過ごせるよう、施設一丸となって準備・手配を実施。期間中においても、施設側からニーズに合ったプランを臨機応変に提供する事で、数多くのキャンプの成功に寄与している。

どのチームも未だ、コロナ感染症に対して慎重になっている点に対しては、2021年にオリンピック代表チームを受け入れた際のノウハウを各スポーツチームに応用することで、安心利用に繋がっている。各チームのキャンプ一つひとつを確実に成功させることは、大きな成果と信頼構築に繋がり、施設としてはその実績・経験を提案することで、また新たなキャンプチームの利用開拓に繋げており、安心・安全な利用環境の提供を通し、静岡市の交流人口の増加に大きく寄与している。

市外・県外のチームだけでなく「ベルテックス静岡」や「静岡ブルーレヴズ」などの

ホームタウンチームによる利用にも積極的に協力することで、スポーツ推進計画中「ホームタウンチームの支援」に基づいた動きも見せている。ホームタウンチームとの連携にも尽力しており、施設からチームへアプローチし、協働教室事業を実施するなど、指定管理者として、幅広くスポーツの推進に寄与している。

危機管理対策の一環として、AED の管理や個人情報の取扱いの徹底が行われている。現場の救急対応策が速やかに講じられるよう、消防 OB 等による定期的な研修と日々の確認・管理が施されており、知識の習得や危機管理意識の向上に繋がっている。

経費節減に関しても、ペーパレス化の推進、省エネルギー対策の実施など、施設の効率的運営を行うことで、ライフサイクルコストの節減に努めている。特筆すべきは、清水日本平運動公園球技場及び庭球場の施設職員数名が、危険物取扱者資格や電気工事士 2 種資格、ガス溶接資格等各種資格を取得したことで、職員による修繕の内製化が進むと同時に、即応能力の向上に繋がるなど、経費節減をきっかけとした二次的効果が見られ、施設管理者としての高い意識と姿勢は高く評価できる。

地域連携については、庵原地区に対し、清水ナショナルトレーニングセンター、庵原球場として地区全体の活性化を図るため、地域共生社会の実現が目指されている。自治会会議への出席をはじめ、地域イベントへの協力と参加、庵原自治会誌「ふれあいはら」への情報発信などによる施設利用促進を図っている。中部横断道の整備とともに、両施設を拠点とした庵原地域の交流人口拡大を目指す取組として、「庵原地区道の駅実行委員会（庵原連合自治会）が主催する「しみず庵原フェス」を清水庵原球場にて開催。これには清水ナショナルトレーニングセンター職員が実行委員会に参加し、直接地域の方々と協働した成果であるため、高く評価できる。

また、台風第 15 号による甚大な被害を受けた清水区民に対し、各施設において施設を中心として迅速な物資配給や人材支援、シャワーの貸し出し等を行い、早期の復旧に役割を果たしたことも、公共施設としての存在意義を確かなものにしていく。

蛇塚地区に対し、蛇塚スポーツグラウンドでは自治会と共に環境整備活動を実施するなど、良好な関係性を構築している。同施設では静岡市スポーツ推進計画の基本施策にも掲げられている「総合型地域スポーツクラブ」の育成・発展に繋がるよう施設利用の支援に取り組むことで連携・協働を実施している。各施設において、近隣小学校の学外授業の一環や、近隣幼稚園の遠足として施設見学の受け入れ実施、小学校プールに赴いての各種教室実施なども実施されている。

上述のように、地域の活性化と振興に寄与することで、地域に根ざした親しみある施設づくりがなされている。地域コミュニティ形成に大きく携わっており、スポーツの活動を通じて市民の健康及び地域のコミュニケーションの発展に貢献している。

スポーツ以外の事業として、清水日本平運動公園球技場では施設見学会を行い、市内外多くの来場者を案内した。コロナ禍によって従来の修学旅行先から静岡に行先を変更した学校などからの来訪実績が多くあった。同施設では学生の職場体験、インターシップ等の受け入れを積極的に行い、教育現場との連携を行っている。今後も、教育現場との連携という視点をはじめとした、他ジャンル・機関との連携による裾野拡大を期待する。

そのほか、清水ナショナルトレーニングセンターでは、プロチームのキャンプ時にも官公庁や市内関係団体からの協力を得て、地場産品を提供するなど、スポーツのみならず、静岡市の特産品を活かした事業とも連携することで、シティセールスにも努めることができていることは高く評価できる。このようなスポーツ以外の事業活動が施設の認知度の向上、その先の利用者数拡大の一助となることが望ましい。

また、消防署・警察、自衛隊による訓練実施の際には、積極的に協力することでも地域に貢献している。他分野との「連携」にできる範囲で大きく力を入れることで、機会の提供と施設のPRの双方を創出できていることは、評価できる。

トレセングループの基本方針である「公共施設としての役割と活用」に対して、「幅広く多様性に富んだスポーツの機会」を演出するため、様々な取組が遂行されている。当グループは、市民スポーツ利用とトップスポーツ利用の二つの側面を併せ持っており、その上で地域との結びつきを意識した事業展開を行うことで、市民へのより良いスポーツ環境の提供と地域振興が図られている。

今後も引き続き、トレセングループとして目標を共有しながら、各々の自主性・自立性の確保に努めつつ、効率・効果的に目標達成ができるよう、各主体が能力、資源、ノウハウ及び規模を互いに補完し合うことで、相乗効果を生み、より一層グループ間での協働・協力が強化されることで、より良い結果に繋がることを期待する。

総じて独自の多種多様な事業や利用促進を目的とした魅力ある事業展開が実施されており、さらに、運營業務から維持管理における多分野において4施設の効率的な連携により指定管理者制度のメリットを十分に反映できていることから、高く評価できる。

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。